



「生徒指導提要（改訂版）がめざすこれからの生徒指導の方向性と課題」

教職員が学校現場の課題について体系的に学ぶ機会を充実させるため、令和7年度より新たに「学校課題別研修」を開設しました。その第1回として、令和7年9月8日（月）に「生徒指導提要（改訂版）がめざすこれからの生徒指導の方向性と課題」をテーマに、関西外国語大学教授の新井肇先生を講師に迎えて実施しました。当日は、熱心にメモを取りながら講義に集中する姿や、事例検討の場面で活発に意見を交わす様子が見られ、会場は終始引き締まった中にも前向きな学びの雰囲気にも包まれていました。

講義では、近年の不登校やいじめ、児童生徒の自殺件数の増加など、子どもたちを取り巻く深刻な課題をふまえて、これからの生徒指導に求められる方向性が示されました。子どもたちが予測困難な社会を生き抜く力を育むこと、多様な背景を持つ児童生徒を受け止め包み込む姿勢、法的理解に基づいた指導や実践、そして「働き方改革」と生徒指導の両立などが課題として挙げられました。また、「させる」から「支える」生徒指導への転換、学習指導と生徒指導を一体として捉える視点、そして学校内外の連携を基盤とした「チーム学校」の構築の重要性が強調されました。後半の事例検討では、児童生徒が発するSOSをどう受け止め、組織として支えるかについて意見が交わされ、同僚性の意義が再確認されました。

参加者からは、「日常の学習活動も生徒指導になり得ると知り、勇気づけられた」「授業の中で自己存在感や共感の人間関係を育むことを意識したい」「不登校やいじめの対応を学校全体で考える必要性を感じた」「学んだ内容を学校運営に活かしたい」などの声が寄せられました。いずれの感想からも、研修での学びを自校の実践に生かそうとする前向きな姿勢がうかがえました。

今回の研修は、生徒指導をめぐる最新の動向を理解するだけでなく、教職員一人ひとりが自身の実践を振り返り、学校全体で取り組む視点を共有する大きな機会となりました。



東大阪市教育センターが冬期に行う研修の募集が始まります

近日中に、東大阪市教育センターが12月～2月に実施する研修（冬期募集）の参加者募集を開始します。参加を希望される方は、全国教員研修プラットフォーム（Plant）上にてお申込みください。また、秋期募集で案内した10月、11月実施の研修も引き続き募集します。

《冬期募集》

研修番号	研修名	対象の校種				実施日
324	就学前教育・保育研修D	幼				2/12 午後
325	就学前教育・保育研修E	幼	小	中		2/26 午後
409	小学校「生活科」研修	幼	小	中	高	2/12 午後
416	小学校「図工」研修	幼	小			12/1 午後
417	中学校「美術」研修			中	高	12/1 午後

※内容や場所等についての詳細は、教育センター研修案内または、募集通知時の実施要項をご確認ください。

※Plant上にて申し込まれたら、管理職の先生にその旨をお伝えいただきますようお願いいたします。

※幼稚園・こども園の先生方につきましては、従来通り、管理職の先生を通じて、庁内LANメールにてお申込みください。

《秋期募集》

研修番号	研修名	対象の校種				実施日
313	特別支援教育研修B	幼	小	中	高	11/4 午後
317	プログラミング教育研修	幼	小	中	高	10/30 午後
403	小学校「社会」研修	幼	小			10/27 午後
404	中学校「社会」研修			中	高	10/27 午後
405	小学校「算数」研修	幼	小			11/14 午後
406	中学校「数学」研修			中	高	11/14 午後
420	小学校「家庭」研修	幼	小			10/7 午後
421	中学校「家庭」研修			中	高	10/7 午後

教育センターでは、子どもたちが新しい時代を築き、生き抜くうえで必要となる創造力や問題発見・解決力を育むため、探究的で教科等横断的な視点に立った学びである「STEAM 探究教育」の研究を進めています。

今年度は、楠根小学校・上小阪小学校・上小阪中学校の3校を研究協力校として「STEAM 探究教育」を進めています。



取組の紹介

<楠根小学校>

テーマ「カラフルな世界をともに～知る、つながる、広げる～」

1学期にSTEAM 探究教育の学びを教員全体で共有するための「問いをつくり、情報を精査し、再構成する」プロセスを捉えなおす教員研修を設定した。情報活用能力がSTEAM 探究教育の学習基盤につながることに教員が気づくことからスタートし、2学期からの実践に向け立案している。

また、子どもたちは大阪関・西万博のコモンズ館を訪れ、多文化にふれる体験や新聞づくりにも取り組んだ。3学期の「カラフルコミュニケーションパーク」をまとめ・表現の場として位置づけ、「多文化共生」をキーワードにSTEAM 探究教育を実践していく。

○現在の主な取組

- ・ 5月26日(月) 「探究的な学習」の推進に向けて～教科書「て」学ぶことの大切さを体験～ (教科書読解)【教職員研修】
- ・ 7月22日(火) 主体性をどう育むか～学習課題・学習過程・学習形態から見直す授業デザイン～ (1学期の授業をふりかえる)【教職員研修】



<上小阪小学校>

テーマ「みんなでつくるみらいのまち～4 you～」

社会科「住みよいくらしとごみ」の学習において、水走ごみ処理場の社会見学を機会として、STEAMの視点を取り入れた探究教育を実施している。社会科の「命とくらしをささえる水」の学習においては、2学期に校区内の配水場見学を通して、水の循環や生活インフラの重要性を実感し、自分や家族が暮らす地域を基盤としたSTEAM 探究教育を予定している。

○現在の主な取組

- ・ 7月2日(水) 探究についてのワークショップ【教職員研修】
- ・ 9月5日(金) お手紙で想いを伝えよう
※校区内の配水場見学への依頼文を作成
- ・ 9月26日(金) 配水場見学を通して、自分なりの課題を探そう



<上小阪中学校>

テーマ「一人ひとりの“ちがい”が力になる～STEAMで築く共生社会～」

1学期に総合福祉施設ノーサイドの方々、LGBTQの方、そして在日外国人の方などのさまざまな出会いや交流を通して、自分自身の生き方や考え方について気づきを得ることができた。多様な人々との出会いを通して、社会課題に触れる学習機会を多く設定することで、生徒たちは「自分たちができることは何か」を問いだして、教科を超えた視点でSTEAM 探究教育を進めている。3年目の取組となる上小阪中学校では、学校として持続可能な展開を視野に入れながら取組を進めている。

○現在の主な取組

- ・ 7月15日(火) ノーサイドの方との出会いや交流(ポッチャ体験)
- ・ 9月2日(火) LGBTQの方のご講演
- ・ 9月5日(金) 手話や白杖体験

